

MR-EP ポリシーの作成と適用

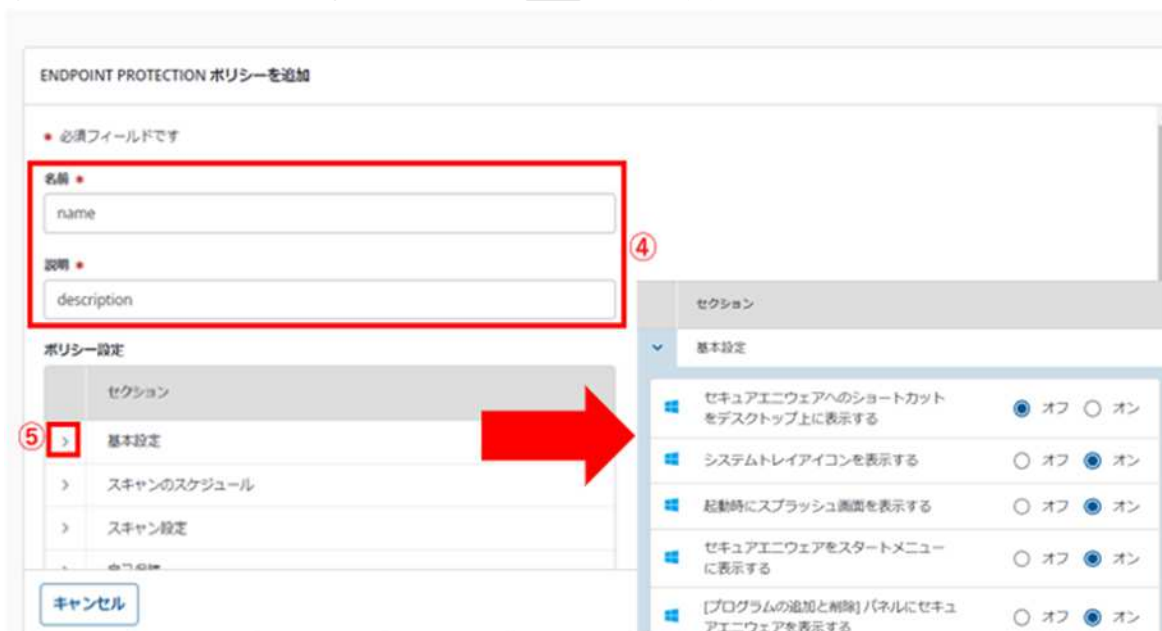
ポリシーは、MR-EP によるスキャンスケジュールやシールド動作などの設定を定義します。MR-EP には複数のデフォルトポリシーが用意されており、初期状態ではそのうちの 1 つが適用されていますが、管理者側で独自のポリシーを作成することもできます。ポリシーを作成した後、クライアントに適用する作業をする必要があります。

ポリシーの作成

- ① Web コンソールにログインします。
- ② [管理]タブ > [ポリシー]の順にクリックします。
- ③ [ポリシーを追加]をクリックします。



- ④ ポリシーの[名前]と[説明]を入力します。(最大文字数は 50 文字です。)
- ⑤ ポリシーはデフォルト設定で作成されています。> を押して、変更するセクションを展開し、ポリシー設定を行います。



⑥ ポリシー設定が終了したら、[保存] > [戻る]の順にクリックしてポリシーの作成は完了です。

各ポリシーの詳細はヘルプドキュメントより「ポリシー > エンドポイントプロテクションのポリシー設定」をご参考ください。
<https://docs.webroot.com/jp/ja/business/administratorguide/administratorguide.htm>

他のポリシーをコピーして作成する手順

- ① Web コンソールにログインします。
- ② [管理]タブ > [ポリシー]の順にクリックします。
- ③ コピーするポリシーをクリックします。

名前	種類	説明	最終更新日	操作
サイレント監査	システム	想定された保護の非修正セキュリティ監査を有効化	-	⋮
推奨 DNS 有効	システム	DNS の推奨デフォルトセキュリティポリシー有効	-	⋮
推奨サーバーデフォルト設定	システム	サーバーに推奨される設定の保護は有効です	-	⋮
推奨デフォルト設定	システム	保護と対応を行う推奨される設定	-	⋮
管理対象外	システム	ユーザーが管理するすべての PC で、このポリシーを使用します	-	⋮
MR-EPポリシー_IDシールドOFF	グローバル	MR-EP推奨設定からIDシールドをOFF	9月 03, 2021 (15:31)	⋮
MR-EP推奨設定グローバル	グローバル	テクノMR-EPサービス	9月 16, 2020 (16:50)	⋮
MR-EP推奨設定グローバル_SOF	グローバル	保護シャットダウンOFF	8月 26, 2021 (09:52)	⋮
name	<input checked="" type="checkbox"/> サイト	description	12月 21, 2022 (13:31)	⋮
スキャン時間	<input checked="" type="checkbox"/> サイト	スキャン時間を変更する	9月 28, 2022 (15:54)	⋮

④ [ポリシーをコピー]をクリックします。

エンドポイント ポリシー: NAME

ポリシーをコピー ポリシーを削除

• 必須フィールドです

名前 *

name

説明 *

description

最終更新日
12月 21, 2022 (13:31)

ポリシー設定

セクション
> 基本設定
> スキャンのスケジュール
> スキャン設定
> 自己保護

戻る 保存

- ⑤ 新しいポリシーの名前と説明を入力します。
- ⑥ > をクリックしてセクションを展開し、変更します。
- ⑦ [保存] > [戻る]の順にクリックしてポリシーの作成は完了です。

コピーするポリシー: NAME

• 必須フィールドです

名前 *

name1 ⑤

説明 *

description1 ⑤

ポリシー設定

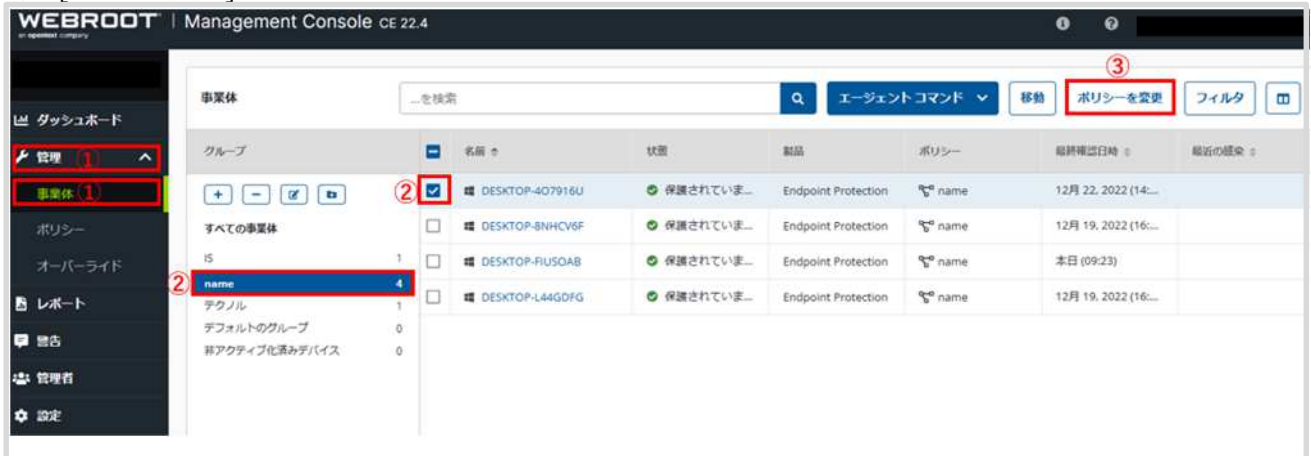
⑥

セクション
> 基本設定
> スキャンのスケジュール
> スキャン設定
> 自己保護
> ローカルヒューリスティック
> インターネットヒューリスティック

キャンセル ⑦ 保存

クライアントへの適用(1) PC 単位で適用する場合

- ① マネジメントコンソール[管理]タブ > [事業体]の順にクリックします。
- ② 適用するクライアントが所属している[グループ]をクリックし、クライアントの[名前]の左側にチェックを入れます。
- ③ [ポリシーを変更]の順にクリックします。

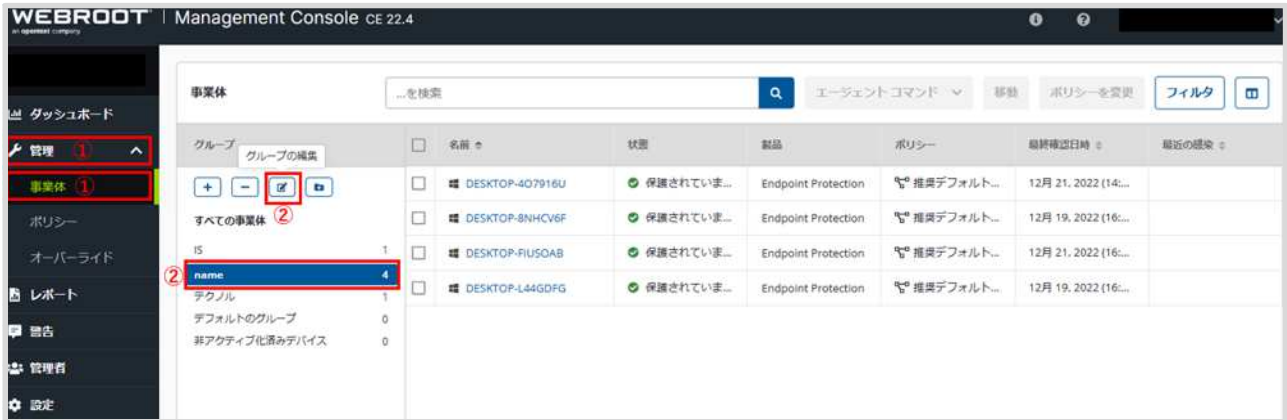


- ④ をクリックして、ポリシーの一覧から適用するポリシーを選択します。
- ⑤ [ポリシーを変更]をクリックして、クライアントへの適用は完了です。



クライアントへの適用(2) グループ単位で適用する場合

- ① マネジメントコンソール[管理]タブ > [事業体]の順にクリックします。
- ② ポリシーを適用する[グループ]をクリックし、[グループの編集]をクリックします。



- ③ エンドポイントポリシーの をクリックし、ポリシーの一覧から、適用するポリシーをクリックします。



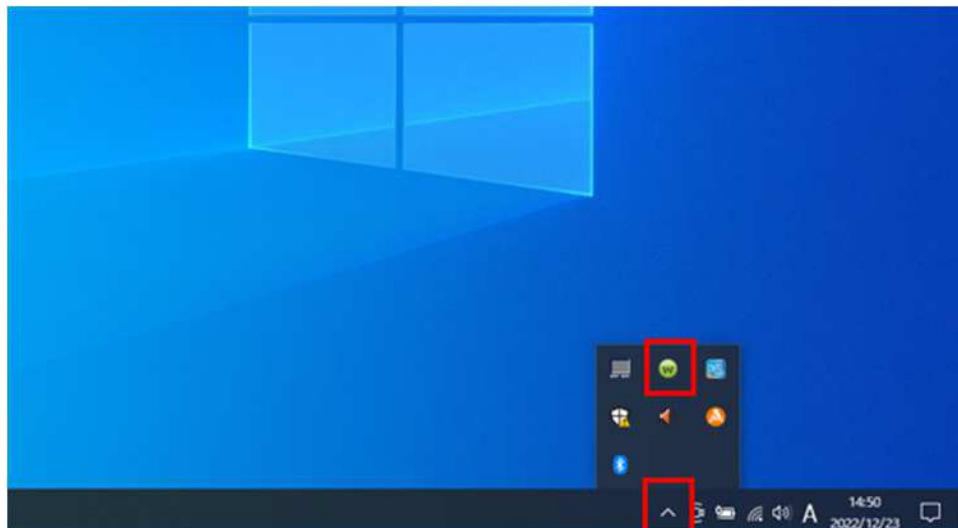
- ④ [グループの編集]をクリックし、グループ単位の適用は完了です。



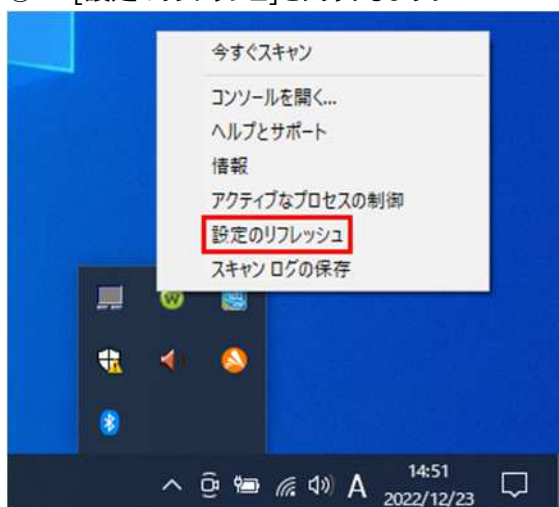
クライアント側では定期ポーリングや再起動のタイミングで信号を受信しポリシーが変更されます。
即時適用したい場合は以下の方法で信号を受信します。

【Windows の場合】

- ① タスクトレイの Webroot アイコンを右クリックします。



- ② [設定のリフレッシュ]をクリックします。



【MacOS の場合】

- ① ターミナルを起動します。
- ② 下記コマンドを実行します。

```
sudo /Applications/Webroot¥  
SecureAnywhere.app/Contents/MacOS/WSDaemon.app/Contents/MacOS/WSDaemon -poll
```

- ③ Mac のログインパスワードを入力します。